

株主の皆様へ

第58期 報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

 石光商事株式会社

証券コード:2750

株主の皆様へ



石光会長



森本社長

株主の皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第58期(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

今後も顧客満足度を高めると共に収益力を強化し企業業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

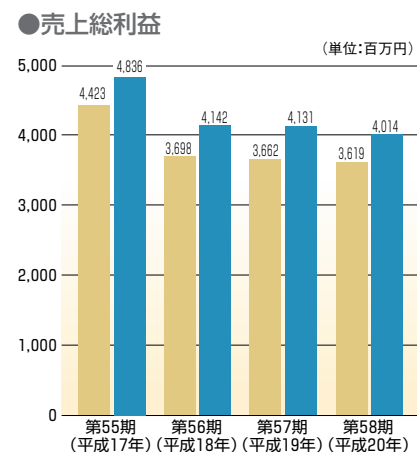
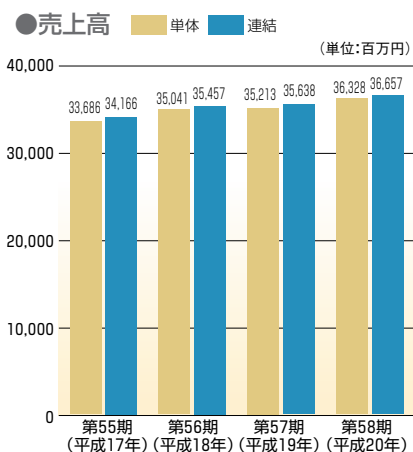
代表取締役会長 **石光 輝男**
代表取締役社長 **森本 茂**

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新興国向けを中心とした輸出の増加に支えられて、景気は回復基調を続けてまいりましたが、原材料価格高騰に伴う利益率の悪化から企業収益は減少に転じ、設備投資も減速いたしました。個人消費についても緩やかな増加が続きましたが、所得の伸びが低迷する中、ガソリン、食料品など消費者に身近な品目を中心に物価上昇率が高まったため、消費者購買心理は大きく悪化いたしました。また、サブプライム

ローン問題を背景とする米国経済の減速や株式・為替市場の変動、原油価格動向等から、景気の下振れリスクが高まっています。

当社グループの主力マーケットである飲料・食品業界におきましては、原料表示の偽装や賞味期限・消費期限をめぐる一連の不祥事や中国製冷凍餃子中毒事件が大きく取り上げられるなど、食に対する安全・安心が強く求められる中、少子高齢化による需要の停滞感から国内での販売競争はますます熾烈



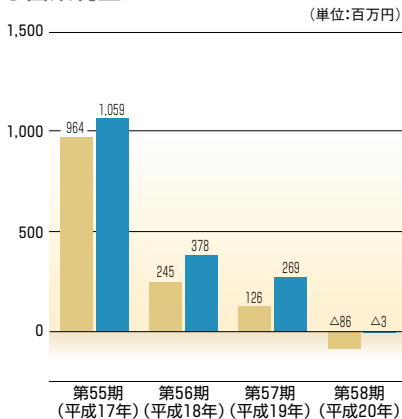
になり、厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは「THE GLOBAL FOOD MERCHANDISER」を目指すべき企業像として掲げ、単なる物の輸出入・販売だけではなく、最適産地の発掘から製造、流通、販促提案、品質管理等の全ての工程に関わり合っ商品価値を高めていく、いわゆるマーチャンダイジング活動に全力を注ぎ、「食」を通じて人々とともに喜びを共有できる企業を目指してまいりました。

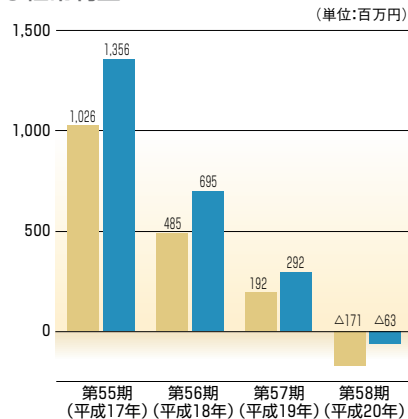
以上の結果、売上高は36,657百万円（前年同期比2.9%増）と若干増加いたしました。飲料製品や輸入食品の販売価格の改定を上回る原料高が続いたこと、飲料・食品業界の競争激化による利益率の低下並びにサブプライムローン問題に端を発した国内株安による退職年金資産の時価下落に伴う評価損86百万円を退職給付費用として一般管理費に計上したことにより、営業損益は3百万円の損失（前年同期は営業利益269百万円）となりました。さらに、

外貨建資産の期末為替相場での換算差額53百万円を為替差損として営業外費用に計上したことにより、経常損益は63百万円の損失（前年同期は経常利益292百万円）となりました。このような業績から繰延税金資産の回収可能性を見直し、その一部を取り崩したことによる法人税等調整額156百万円を計上いたしました結果、当期の法人税等調整額は70百万円となり、当期純損益は155百万円の損失（前年同期は当期純利益228百万円）となりました。

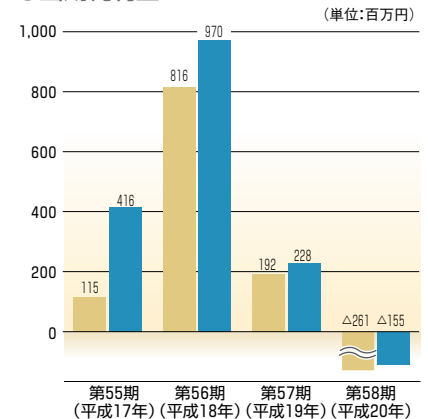
●営業利益



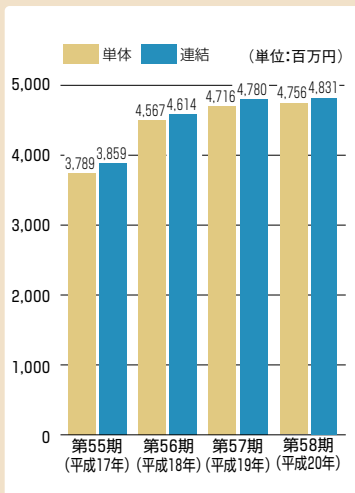
●経常利益



●当期純利益

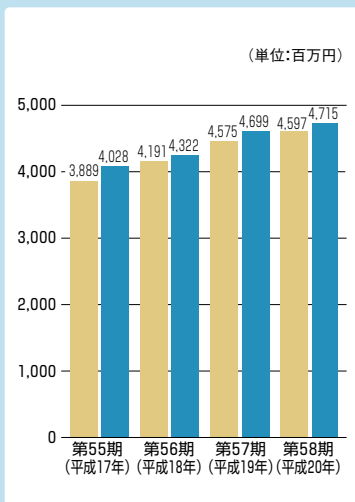
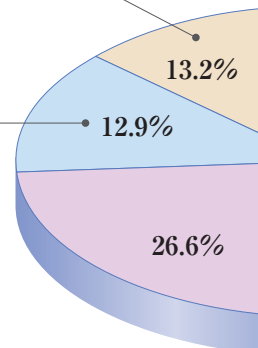


商品別概況



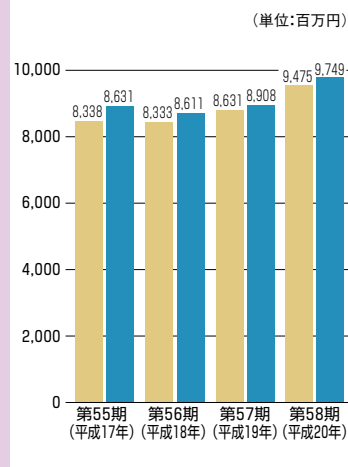
■コーヒー生豆

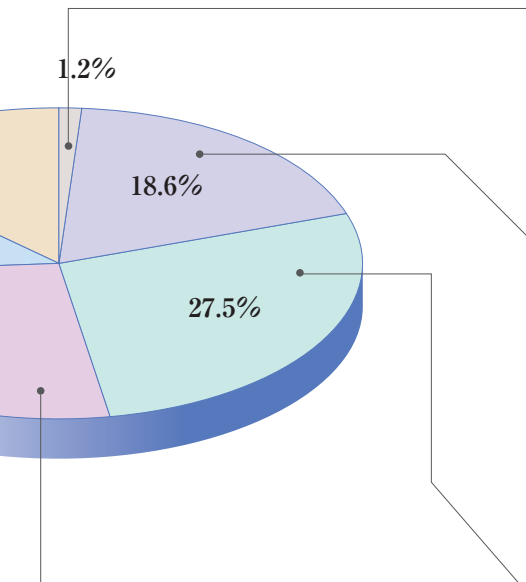
主力商品であるコーヒー生豆のニューヨーク市場価格(期近終値ベース)は、期初の108.60セント/ポンド(以下セントと略す。)から、5月には101.35セントまで下がりましたが、その後は上昇を続け3月初めには165.40セントまで上がり、期末は127.40セントで終了いたしました。このようにコーヒー生豆相場が高値で推移したことから、価格訴求の強い取引を回避したため、販売数量は減少したものの、相場上昇に伴い販売単価が上昇したことにより、コーヒー生豆の売上高は4,831百万円(前年同期比1.1%増)となりました。



■飲料製品および原料

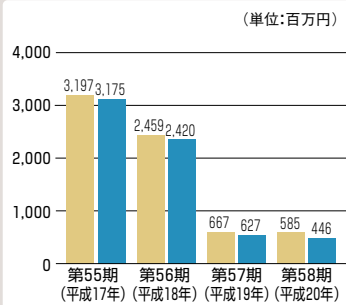
レギュラーコーヒーの売上高はコーヒーバッグ(家庭用簡易ドリップコーヒー)が引き続き好調なため、前年同期比9.6%増加いたしました。インスタントコーヒーの売上高はバルク商品が増加したものの、家庭用商品が減少したため、前年同期比9.7%減少いたしました。茶類の売上高は飲料メーカー向けの紅茶原料や緑茶原料が減少したため、前年同期比3.8%減少いたしました。その他商品の売上高は海外向けのコーヒー飲料製品の新規受注等により24.0%増加いたしました。その結果、飲料製品および原料の売上高は4,715百万円(前年同期比0.3%増)となりました。





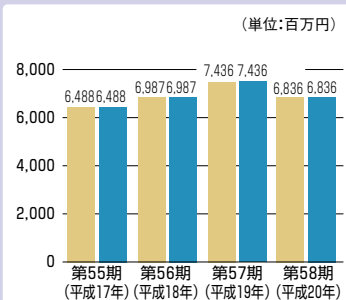
■ 常温食品

輸入商品や自社ブランド商品の売上高はイタリアからの輸入食品（パスタ・オリーブオイル・トマト）や輸入農産缶詰類が増加したため、前年同期比5.3%増加いたしました。国内メーカー商品の売上高は新規取引先や取り扱い商品の増加により前年同期比6.1%増加いたしました。食品の輸出売上高は主に東南アジア向けが引き続き好調なため前年同期比24.4%増加いたしました。その結果、常温食品の売上高は9,749百万円（前年同期比9.4%増）となりました。



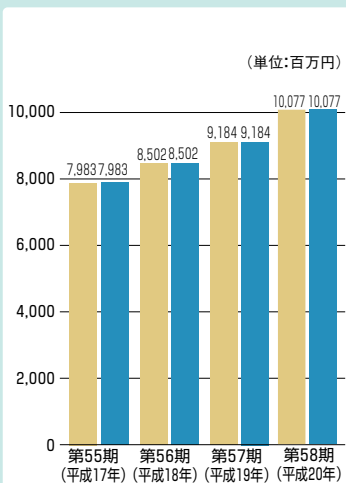
■ その他

その他の売上高はコーヒー関連の大口機械設備の売上がなかったこと、雑貨等の輸出が減少したことおよび業務用のコーヒー関連器具・備品が販売先の需要減により減少したことにより大幅に減少いたしました。その結果、その他の売上高は446百万円（前年同期比28.8%減）となりました。



■ 食品原料

食品原料の売上高はトマト加工品および小豆加工品が増加したものの、生鮮野菜類、栗原料・栗甘露煮製品および梅干が減少いたしました。その結果、食品原料の売上高は6,836百万円（前年同期比8.1%減）となりました。



■ 冷凍食品

輸入水産加工品の売上高は外食店向けのエビ加工品の増加により前年同期比7.4%増加いたしました。輸入調理加工品の売上高は商品アイテム数の増加や販路の拡大により、前年同期比21.0%増加いたしました。国内メーカー商品は新規取引先や取り扱い商品の増加により前年同期比11.1%増加いたしました。その結果、冷凍食品の売上高は10,077百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

連結財務諸表 要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当連結会計年度末 (平成20年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	12,536	12,245
固定資産	6,213	6,220
有形固定資産	2,710	2,651
無形固定資産	14	13
投資その他の資産	3,488	3,556
資産合計	18,750	18,466
(負債の部)		
流動負債	6,740	7,050
固定負債	4,745	3,447
負債合計	11,485	10,498
(純資産の部)		
株主資本	7,345	7,660
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	6,370	6,685
自己株式	△4	△4
評価・換算差額等	△281	96
その他有価証券評価差額金	51	100
繰延ヘッジ損益	△333	△4
少数株主持分	200	210
純資産合計	7,264	7,967
負債・純資産合計	18,750	18,466

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	36,657	35,638
売上原価	32,642	31,506
売上総利益	4,014	4,131
販売費及び一般管理費	4,018	3,861
営業利益又は営業損失(△)	△3	269
営業外収益	175	141
営業外費用	235	119
経常利益又は経常損失(△)	△63	292
特別利益	12	155
特別損失	11	0
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	△62	447
法人税、住民税及び事業税	18	190
法人税等調整額	70	10
少数株主利益	3	18
当期純利益又は当期純損失(△)	△155	228

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△908	△428
投資活動によるキャッシュ・フロー	△316	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	939	794
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	△28
現金及び現金同等物の増減額	△331	219
現金及び現金同等物の期首残高	1,819	1,599
現金及び現金同等物の期末残高	1,487	1,819

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	623	357	6,685	△4	7,660	100	△4	96	210	7,967
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△159		△159					△159
当期純損失			△155		△155					△155
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△48	△329	△377	△10	△388
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△314	—	△314	△48	△329	△377	△10	△703
平成20年3月31日残高	623	357	6,370	△4	7,345	51	△333	△281	200	7,264

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表(単体) 要旨

貸借対照表

(単位:百万円)

	当会計年度末 (平成20年3月31日現在)	前会計年度末 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	12,238	11,933
固定資産	3,469	3,571
有形固定資産	2,179	2,156
無形固定資産	10	9
投資その他の資産	1,280	1,405
資産合計	15,707	15,505
(負債の部)		
流動負債	6,737	7,076
固定負債	4,620	3,298
負債合計	11,358	10,374
(純資産の部)		
株主資本	4,656	5,077
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	3,681	4,102
自己株式	△4	△4
評価・換算差額等	△306	52
その他有価証券評価差額金	26	56
繰延ヘッジ損益	△333	△4
純資産合計	4,349	5,130
負債・純資産合計	15,707	15,505

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

	当会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	前会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
売上高	36,328	35,213
売上原価	32,708	31,550
売上総利益	3,619	3,662
販売費及び一般管理費	3,705	3,536
営業利益又は営業損失(△)	△86	126
営業外収益	156	188
営業外費用	240	121
経常利益又は経常損失(△)	△171	192
特別利益	12	153
特別損失	8	0
税引前当期純利益 又は税引前当期純損失(△)	△167	346
法人税、住民税及び事業税	2	137
法人税等調整額	92	16
当期純利益又は当期純損失(△)	△261	192

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

当会計年度（自平成19年4月1日 至平成20年3月31日）

（単位:百万円）

	株主資本										自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					利益剰余金 合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金			繰越利益 剰余金				
					配当準備 積立金	固定資産圧縮 積立金	別途積立金					
平成19年3月31日残高	623	357	357	84	42	578	2,900	497	4,102	△4	5,077	
事業年度中の変動額												
固定資産圧縮積立金の取崩し						△11		11	—		—	
剰余金の配当								△159	△159		△159	
当期純損失								△261	△261		△261	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）												
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	△11	—	△409	△421	—	△421	
平成20年3月31日残高	623	357	357	84	42	566	2,900	87	3,681	△4	4,656	

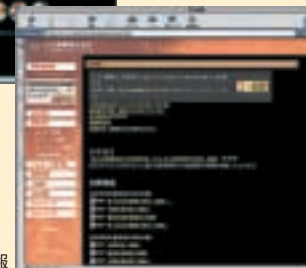
	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	56	△4	52	5,130
事業年度中の変動額				
固定資産圧縮積立金の取崩し				—
剰余金の配当				△159
当期純損失				△261
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）	△30	△329	△359	△359
事業年度中の変動額合計	△30	△329	△359	△781
平成20年3月31日残高	26	△333	△306	4,349

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

ホームページのご案内

<http://www.ishimitsu.co.jp/>

当社ホームページでは、企業情報・IR情報、採用情報、最新ニュース等、当社に関する情報を提供しております。



IR情報

会社の概要

会社設立 昭和26年5月
 会社名 石光商事株式会社
 資本金 62,320万円
 本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号
 従業員数 164名

役員 (平成20年6月27日現在)

代表取締役会長 石光 輝男
 代表取締役社長 森本 茂
 常務取締役 中西 繁
 常務取締役 草場 鉄郎
 常務取締役 久保 潤一
 取締役 内田 十司夫
 取締役 北川 誠
 取締役 山口 啓介
 取締役 吉川 宗利
 常勤監査役 山岸 公夫
 監査役 入江 和義
 監査役 樋口 進二

株式の状況

- ① 発行可能株式総数 22,400,000株
 ② 発行済株式総数 8,000,000株
 ③ 株主数 8,042名
 ④ 大株主

株主名	持株数	出資比率
石光 輝男	398 千株	4.9 %
三菱商事株式会社	378	4.7
石光商事従業員持株会	358	4.4
株式会社三井住友銀行	252	3.1
駒澤 啓之	210	2.6
日米珈琲株式会社	204	2.5
竹田 和平	200	2.5
丸紅株式会社	192	2.4
石光 百合	165	2.0
伊藤忠商事株式会社	150	1.8

株式分布状況

所有者別		所有者別
10名 (0.12%)	金融機関	939,060株 (11.74%)
10名 (0.12%)	金融商品取引業者	12,342株 (0.15%)
46名 (0.57%)	その他の法人	1,242,170株 (15.53%)
7名 (0.09%)	外国法人等	33,200株 (0.42%)
7,969名 (99.10%)	個人・その他	5,773,228株 (72.16%)
8,042名 (100.00%)	合計	8,000,000株 (100.00%)

グループ情報

- 当 社 … 当社取扱主要品目を海外から輸入または国内で仕入れ、全国のコーヒー焙煎業者、業務用食品問屋、飲料メーカー、食品加工メーカー、量販店、外食チェーン店等に販売しております。
- シ ー カ フ ェ ー(株) … 当社取扱品目のアンテナショップとしてイタリアンレストランを経営しております。
- ユ ー エ ス フ ーズ(株) … コーヒー生豆を自家焙煎喫茶店等の小口ユーザーに販売しております。
- 岩 屋 サ ー ビ ス(株) … 関西地区における当社の物流業務を行っております。
- キ ン グ 珈 琲(株) … コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを常温食品及び冷凍食品とともに業務用として喫茶店等に販売しております。
- 関西アライドコーヒーロースターズ(株) … コーヒー生豆を焙煎し、当社が販売するレギュラーコーヒーの焙煎・加工受託を行っております。
- 東京アライドコーヒーロースターズ(株) … コーヒー生豆を焙煎して製造したレギュラーコーヒーを飲料メーカー及び量販店等に販売しております。

〈事業所〉

● 本	社	神戸市灘区岩屋南町4-40
● 東	京	支店 東京都大田区山王1-4-6
● 福	岡	支店 福岡市博多区堅粕3-13-13
● 名	古	支店 名古屋市北区五反田町91
● 札	幌	支店 札幌市豊平区美園一条6-1-31
● 物	流	セ ン タ ー 大阪市西淀川区福町1-2-24



本社



S.ISHIMITSU & CO.,LTD.

株主メモ

定時株主総会 毎年6月中
基準日 定時株主総会 3月31日
配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
(剰余金の配当をする場合) 中間配当金 9月30日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
〒530-0004
同事務取扱場所
(お問い合わせ先) 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話0120-094-777(通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村証券株式会社 全国本支店
○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料)
0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
ホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
公 告 方 法 電子公告
<http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/koukoku.html>



この報告書は、環境に配慮し、大豆油インキを使用しております。